

那須の歴史
再発見!

那須町の 地域文化遺産

vol.16



ほうそう
疱瘡神社

今回は小島地区に鎮座する
疱瘡神社を紹介します。

小島地区は、会津藩の米の
輸送路である原街道が白河―
黒磯間を縦断する地区として
問屋が置かれた場所であり、
近代以降も那須村が誕生する
と、役場や駐在所などが置か
れ官公庁の中心地でした。

疱瘡神社の創立年代につい
ては不明な所も多いですが、
「御立願状」(渡辺家文書/探
訪館寄託)によると、元禄5
年(1692)に黒羽藩6代
藩主・大関増恒が大檀那とな
り約3mの堂宇を建設してい
ることがわかり、その頃まで

には疱瘡神社が存在していた
と考えられます。また黒羽に
存在した帰一寺(現在の白旗
不動)と別当として小島の金
剛院(長楽寺の院号)の名前
も確認することができ、古く
から疱瘡神社と長楽寺は関係
性があつたことがうかがえま
す。

また疱瘡神社には、黒羽藩
主・大関氏とのエピソードが
遺されています。『那須村郷
土教育資料誌』によると、黒
羽藩15代藩主・大関増裕の姫
が疱瘡(天然痘)に罹患した
際、疱瘡神社に祈願したところ
治癒し、増裕は毎年旧3月
12日の例祭には参詣したとい
うエピソードが遺されてお
り、当時不治の病であった疱
瘡に対するご利益を人々はこ
の神社に求めていたことがう
かがえます。

神社には、算額(町指定文
化財/探訪館寄託)が伝わっ
ています。これは和算(日本
独自で発達した数学・算術体

系)の問題が3問記されたもの
で、「問」「答」「解き方」が記述
されています。この算額は明和
6年(1769)に奉納された
もので、栃木県内でも2番目に
古く、全国でも14番目に古いも
のになります。また疱瘡神社に
合祀されている天王社には、数
年前まで獅子頭の奉納がされて
いました。獅子舞は獅子頭を収
納する長持の蓋の裏書から文化
元年(1804)にはすでに存
在していたと考えられており、
この地域の文化や教養の高さを
感じることができます。



仁王像

境内にある芦野石でできた仁
王像も圧巻です。近くを訪
れた際には立ち寄ってみたいス
ポットです。

▼問合せ 那須歴史探訪館
☎74・7007

那須歴史探訪館

■申込み・問合せ
那須歴史探訪館 ☎74-7007

トピック展「小泉斐の 作品たち」好評開催中!

黒羽藩の絵師で、谷文晁らに
も影響を与えたアユの絵で知ら
れる小泉斐(1770-1854)の作品を紹介し
ます。近年
町内で発見された彼の作品を中
心に展示します。

▼会期 9月13日(日)まで
▼入館料 大人200円
(中学生以下無料)

常設展「那須町の歴史」 を開催中です

旧石器時代からアジア・太平
洋戦争までの町の歴史を紹介し
ています。江戸時代の交代寄合
旗本芦野氏や黒羽藩、那須温泉
の資料を展示します。

▼会期 9月13日(日)まで
▼入館料 大人200円
(中学生以下無料)

夏休み子ども向け講座
「まちなかで見る江戸時代の
ひらがなを読んでみよう」
参加者募集中!

まちなかで見かける古文書(変
体仮名)をきっかけに江戸時代
のひらがな読解にチャレンジし
てみませんか?

▼日時 8月9日(日)
午後2時~3時

▼定員 20名

(小学校4年生~高生)

※親子での参加可

▼場所 文化センター

▼参加費 無料(要予約先着順)

※詳しくは町ホームページをご
覧ください。

